

CBAP 受験体験記 (V3 CBT)

株式会社野村総合研究所 田川 佳織

※2023 年 1 月時点での情報となります

はじめに

私はこれまで、人材育成の施策や研修プログラム設計、講師など、人材育成に携わる仕事を長く経験してきました。現在は、NRI の人材開発部に所属しており、社内の認定資格制度の運用支援のかたわら、認定者の育成プログラムの設計や運用をしています。ビジネスアナリストを育成する研修プログラムも担当していることから、自分自身も BABOK を深く理解したいと思うようになったことがきっかけで CBAP の受験に至りました。

私は、CBAP を 2 回受験しました。1 回目はオンライン、2 回目は試験会場です。CBAP の受験に関する情報は、日本ではまだ非常に少ないため、受験についてもどちらを選択するか迷っていらっしゃる方も多いかと思います。私の経験が少しでも多くの方のお役に立てればと思い、体験記を寄稿することになりました。

受験までのスケジュール

2022/3~4	: KB マネジメント研修受講
2022/5	: 受験申請
2022/8	: 勉強開始
2022/10	: 1 回目受験 (オンライン / 不合格)
2022/11	: 2 回目受験 (試験会場 / 合格)

勉強時間・方法

研修受講後、業務が忙しくまとまった勉強時間が取れず。再び受験勉強のエンジンがかかったのが 8 月下旬。そこからの 3 か月間は、平日は 1~3 時間、土日は 4~5 時間のペースで毎日勉強しました。

勉強方法としては、まずは BABOK を 3 回ほど通読しましたが、読むだけではなかなか頭に入らなかったため、学習項目を自分でノートにまとめて整理。さらに(私の場合)口に出して他人に説明しようと意識しながら整理するとより頭に入るため、自分がノートを使いながら説明している動画の録画映像を、

通勤の電車の中で何度も見て学習しました。BABOK は、持ち歩くには重すぎるので、動画をどこでも閲覧できるようにしたことで、隙間時間に学習することができ、各段に学習効率が上がりました。

全体像をしっかりと頭に入れた後に、KB マネジメントの模擬問題を何度も解きました。2回目の受験前には、いくつかの模擬問題サイトの問題集も購入して解きました。模擬問題サイトの問題は、設問内容は同じなのに正解が異なるものも何割か存在したので、その都度 BABOK で正解を確認しながら学びを深めていきました。

1 回目の受験でどのような試験問題が出題されるかが理解できたため、2 回目の対策はしやすかったです。各カテゴリとタスク、インプットとアウトプットの関係などはすべて暗記しておく必要がありますが、それだけは足りないと感じました。CBAP の設問の選択肢は、どれも4択ですが、2択まで絞るのは容易、でもそこから正解を選ぶのが難しいと感じる問題が多かったです。「どちらも正しいけれど、より BA として最善なふるまいは？」という観点で正解を選ぶためには、BABOK を思考と行動のレベルに分解して深く理解することが必要なのだと感じました。

したがって、BA としての実務経験が豊富でしっかりとしたコンピテンシーを持った方ほど CBAP の勉強は容易だと思います。

試験画面の構成

PMP をはじめ、一般的なベンダー試験とほぼ同じレイアウトなので使い方に戸惑うことはなさそうです。

- ヘッダー： 「前へ」「次へ」「テスト終了」ボタン、電卓、タイマー、
言語選択のドロップダウンリスト(英語・日本語表記を切り替えることが可能)
- 設問エリア： 設問、選択肢、「フラグ」ボタン、「解答」ボタン
- フッター： 問題番号のインジゲータ(クリックして任意の問題番号へ遷移可能)。

試験の問題について

120 問のうち、最初の 40 問は事例問題(長めの文章題。表や図などもあります。事例を読んで設問に答える問題です)、残りの 80 問は知識問題でした。

数問のみ、日本語の意味がわかりづらい問題がありましたが、そのような場合には、言語を英語に切り替えて内容を確認しながら解きました。

受験当日の流れ

① オンライン編

オンライン試験では、ラベルのないペットボトル(水のみ)の持ち込みが許可されています。また、白紙のメモ用紙 2 枚の持ち込みが可能です。3時間半の試験ですが、途中のトイレ休憩は許可されていません。その場で立ち上がってのストレッチは 1 度のみ許可されています。

1. IIBA のサイトにログインし、「MyCertifications」にを開きます。
<https://my.iiba.org/portal/s/certification-summary-page>
受験時間 30 分前になると、「試験起動」ボタンがクリックできるようになります。
2. 「試験起動」ボタンをクリックすると、「PSI Secure Browser」のインストールを要求されます。
この際、アプリが PC を制御できるようにするため OS の設定も必要になるようで、私は Mac で受験しましたが、「PSI Secure Browser」がカメラデバイスを制御できるよう追加設定が必要でしたが設定がうまく設定が完了できず、ヘルプデスクの方がリモートからトラブルシューティング。5 分ほどで解決。
3. インストールと設定が完了すると、「PSI Secure Browser」以外のアプリはまったく起動できなくなります。この時点から PC の画面全体が試験官に共有されているようです。
4. 受験環境をチェックするためのガイダンスがスタート。ガイダンスは 2STEP に分かれており、最初は AI による自動診断、二回目は試験官の目視による診断です。全体で 15 分ほど時間がかかりました。

試験官には、こちらのカメラが見えていますが、受験者からは試験官は見えません。試験官とは音声によるやりとりはできません。試験官からの指示はすべてチャットに入力されます。回答も英語でチャットに入力します。チャットでは、以下について指示がありました。

・トラブルがあった場合にそなえて連絡先の電話番号があるのでひかえておくこと

・トラブルが起こった際に問い合わせると、オペレータからまずチケット番号が付与されるので、必ずひかえておくこと

5. チェック完了後、5 分ほどで試験がスタートしました。

所感: テスト開始後は、頻繁に画面にアラートが表示され、気が散りました。「モニタをずっと見ていない」「モニタに顔が近い」「指がモニタに触れた」などなど。

さらに、テスト経過から 2 時間ほどたったとき、突然「ネットワークが不安定です」と表示され、アプリ (PSI Secure Browser) が落ちました。サポートの電話番号をひかえていたので電話をしようとして、私のスマ

ホが国際通話に対応していないことに思い至りました…。仕方なく、サポートにメールをして対応方法を確認しようとしたところ、

「ご連絡ありがとうございます。ただいま営業時間外です。翌営業日に回答します」

という返事がきて、眩暈がしました(苦笑)。

その後、IIBA のサイトにログインしたところ、チャットでサポートとつながりました。確認したところ、私の取り組み履歴は残っているので、復元します、とのこと。そのまま復元を待つことにしましたが、実際にテストの続きを再開できたのは、中断してからすでに1時間以上経過していました…。

サポートとのやりとりはすべてチャットのみ、英語のみでした。多少は英語が理解できないとトラブル時は難しいと思いました。

② 試験会場編

市ヶ谷の会場にて受験。私以外にも 10 名ほどの方が同時刻に予約されており、受付は結構込んでいました。受付をすませ、ロッカーにすべての荷物をしまい(水も)、会場へ。案内された PC には試験名と私の名前が表示されていました。確認してから試験スタート。開始前にメモ用紙(2 枚)とペンを渡され、終了時に回収されます。

途中、一度トイレ休憩を取ることができました。

オンラインか、試験会場か、悩んでいる方へ

個人的には、以下の理由から、断然、試験会場をおすすめします！

1. 接続トラブルの心配がないこと → これが一番大きいです。トラブル時に英語のみの対応となる点もネックです。
2. 試験の途中でトイレに行くことができること → 3 時間半にもわたる試験中トイレに行けないのはプレッシャーに感じました。

(テストセンターでは水の持ち込みが NG なのに、オンライン試験では、OK でした。水は飲めるけれどトイレには行けないのがオンラインなのですね…。

また、それぞれを選択される方へのアドバイスを以下に記載します。

試験会場で受験される方へ

試験会場のデメリットは会場の少なさと予約の取りづらさです。2022 年 11 月時点で、東京で受験可能な会場は、市ヶ谷と秋葉原のみでした。(以前はプロメトリックでも受験ができたようですが、現在は PSI

のみとなっているため)。会場数が少ない上、CBAP は受験時間が長いいため選択可能な予約枠が非常に少ないです(1日2枠程度)。また、オンライン受験だと土日のスケジュールも可能ですが、試験会場は平日のみのようです。したがって、オンラインほど受験日程の選択肢がありませんので、早めのご予約をおすすめします。

オンラインで受験される方へ

- 試験官が日本人ではないため、パスポートが必須となります(マイナンバーカードや免許証はNG)
- 受験する PC は会社貸与のものではなく個人のものを使うことをおすすめします。会社貸与の PC の場合、セキュリティの制限により「PSI Secure Browser」のインストールができない可能性があります。そうなると受験そのものができません。
- 受験環境チェックの際、天井や机の下を撮影するように言われますので、PC 内蔵のカメラではなく外付けの Web カメラがある方がよいと思います。
- 少しでも良いネットワーク環境で。有線での接続をおすすめします。
- 試験中に話し声などが聞こえると失格になる可能性があるため、一人で受験できる場所を確保する、玄関のインターホンの音声も切るなどの配慮が必要です。
- 試験の開始時間が遅れる、また試験が中断する可能性を考慮し、時間に余裕をもって時間確保しておくことをおすすめします(前述しましたが、私は Mac の設定トラブル、そして試験中のネットワークトラブルで1時間半ほど中断が発生しました。9時半から開始した試験が終了したのは15時半でした・・・)。
- トラブルがあった際は、「PSI Secure Browser」のチャットで連絡をしてください。、「PSI Secure Browser」が終了してしまった場合は、IIBA のサイト～PSI のサイトに接続してヘルプデスクに連絡してください。

テスト終了後

「テスト終了」ボタンを押すと画面上に、合格か不合格かのみ表示されます(得点は表示されません)。オンラインの受験の場合は、試験官より、画面のキャプチャを取らないようチャットで指示され、また、メモをカメラの前で廃棄するように指示されます。受験後、不合格の場合は、励ましと次回の受験を促すメールが、合格の場合はお祝いのメールが IIBA より届きます。可否と知識エリアごとの達成状況が記載されていますが、全体で何点取れたのか、何点足りなかったのかまったくわかりませんでした。

さいごに

受験申請時に監査対象となったり、オンライン受験中に試験が中断したりと、合格までは大変なこともありましたが、BABOK を体系的に学び、そして自分のツールとして使うことができるレベルまで理解を深めることができたことは、今後の自分の財産になりました。BABOK は、まさにデジタルトランスフォーメーションに向かう企業にとって非常に役立つフレームワーク だと思います。多くの方に学んでいただきたいです。今後は、自分自身の研鑽だけでなく、BABOK を世の中に普及させる活動にも貢献していきたいと思っております。

ビジネスアナリストの育成に奮闘されている皆様と、意見交換させていただけますと幸いです。ぜひお気軽にご連絡ください。

2023 年 1 月 20 日

野村総合研究所 人材開発部

田川 佳織

k-tagawa@nri.co.jp